情報通信審議会 情報通信技術分科会
I Pネットワーク設備委員会（第83回）

1 日時

令和6年12月5日（木） 10時00分～10時32分

2 場所

Web開催

3 出席者

（1）構成員

相田主査（東京大学）

朝枝構成員（国立研究開発法人情報通信研究機構）

石井構成員（一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会）

岩田構成員（一般社団法人情報通信技術委員会）

内田構成員（早稲田大学）

江崎構成員（東京大学）

武居構成員（一般財団法人情報通信端末機器審査協会）

田中構成員（明治大学）

宮田構成員（東京科学大学）

矢入構成員（上智大学）

（2）総務省

湯本総合通信基盤局長

大村総合通信基盤局電気通信事業部長

大塚安全・信頼性対策課長

（以下事務局）

五十嵐電気通信技術システム課長

柴田電気通信技術システム課企画官

吉田電気通信技術システム課課長補佐

岡本電気通信技術システム課課長補佐

(3) オブザーバ

一般社団法人電気通信事業者協会

一般社団法人テレコムサービス協会

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

日本電信電話株式会社

株式会社NTTドコモ

KDDI株式会社

ソフトバンク株式会社

楽天モバイル株式会社

4 議事

(1) IPネットワーク設備委員会報告(案)についての意見募集の結果

事務局より、資料83-1に基づき提出意見に関する説明が、資料83-2及び資料83-3に基づき提出意見等に基づく報告案の修正に関する説明が行われた。

また、機能番号#7に関する修正については、電気通信事業者協会(TCA)の金子氏から追加で説明がなされた。該当箇所に係る説明は以下のとおり。

【吉田電気通信技術システム課課長補佐】

資料83-2の10頁目で、機能番号#7について追記している。この機能は音声とデータ両方に係る機能という前提で議論していたが、第3回端末等タスクグループで、VoLTEの制御に用いられるものであるため、LTEを用いるデータ通信端末に具備することを求めないとするのが正しいのではないかという御意見をいただき、TCAで御議論いただいた結果、その御意見が正しいという結論に至ったため追記したものである。

この件についてTCAの金子様から御説明いただきたい。

【電気通信事業者協会(金子企画部長)】

機能番号#7のSSACの記載について、端末等タスクグループでの御意見、御指摘

を受け、事業者側で確認した結果として修正させていただいた。本件に関して、資料83-2中の参考資料2の12頁目も修正に合わせて更新している。

主な質疑応答は以下のとおり。

【朝枝委員】

トヨタからのコメント6番に対する委員会の回答に「I o T端末のうち、現状、海外利用を想定していない機器には、スマートフォン等に見られるローミングに係る機能はなく」とあるが、コメントでは海外利用について述べられていない。この文言の意図は何か。

この文言がない、「I o T端末において、ローミングに係る機能がない場合があるので」というようなシンプルな説明でも良いのではないか。

【柴田電気通信技術システム課企画官】

パブリックコメント中に開催した、この委員会の下部の会合である端末等タスクグループにおいて、ベンダーから、I o T機器に関しては対応に時間がかかるとの御指摘があった。その理由が、もともと国際データローミング機能がついているスマートフォンであれば今般の国内の非常時ローミングに比較的対応しやすいが、そうでない機器に関しては、スマートフォンに見られるような国際データローミング機能がないので、新たに機能をつけないと対応できず、工数、時間、費用がかかるため、とのことであった。その意見もパブコメと併せて報告書に含めたもの。

【朝枝委員】

理由は分かったが、若干回りくどい気がする。単に、I o T機器でそういう機能を簡単に作れない場合があるので、年単位で時間を要するかもしれないという形でも良いと思うが、そう書くと理由が分からないという指摘があるのか。

【柴田電気通信技術システム課企画官】

ここはどれだけ分かりやすく書くかの問題であり、報告の修正案には、事業者から意見のあった、時間がかかる理由をそのまま書いたが、根本的なところは、開発に時間が

かかるということであり、その理由がローミングに係る機能がないI o T機器が多いということで、さらにその理由が、といったように3段階分ぐらい掘り下げて書いている。そういう意味では、一番深掘りした理由である、海外利用を想定していない機器という言葉は細かく説明し過ぎている部分があるかもしれない。事業者から、I o T端末においてはスマートフォンに見られるローミングに係る機能のないものが多いという意見があった、くらいのつなぎ方でも良いのかもしれない。ここだけ理由が細かいというのは、御指摘のとおりかもしれない。

【朝枝委員】

海外利用という言葉に少し唐突感があったのでコメントさせていただいた。

【相田主査】

先ほど朝枝構成員から御指摘があった点については、私と事務局の間で文言を調整させていただいた上で、近日中に委員会として意見募集の結果を公表した後、委員会報告については、情報通信技術分科会において一部答申（案）として御審議いただくこととさせていただきます。

(2) 今後の検討スケジュールについて

事務局から資料83-4に基づき説明が行われた。

(3) その他

報告のとりまとめを受け、湯本総合通信基盤局長から挨拶があった。

【湯本総合通信基盤局長】

この度、IPネットワーク設備委員会報告を取りまとめいただいたことを受け、総務省を代表して、一言御礼を申し上げます。

令和7年度末を目途とした非常時ローミングの実現に向けて、今回の報告においては、主に端末の技術基準に関して、作業班やタスクグループを含めて御議論いただき、幅広

い関係者の意見を踏まえた非常に意義のある報告を取りまとめいただいた。

携帯電話サービスは国民生活や経済活動に不可欠なライフラインとなっており、自然災害時や通信障害時などの非常時における携帯電話サービスの通信環境を確保することは大変重要なテーマである。今回の報告に基づいて更新をいただいた後、総務省としては早急に所要の制度整備を進めていく。また、携帯電話事業者の皆様、ベンダーの皆様など関係者と連携しながら、丁寧に実際の制度運用に努めてまいりたい。

今後も非常時ローミングの実現に向けて、運用方法、利用者周知等、さらに幅広い検討や整理が必要となる。実現まで残り1年強であるが、相田主査をはじめとする関係者の皆様方には御議論をさらに深めていただき、適切な形で令和7年度末頃に非常時ローミングが実現できるよう、引き続き御指導のほどよろしくお願い申し上げたい。

以上